

【資料2-1】

スポーツウエルネス学学位プログラムの特徴

- 専門博士(研究博士、専門職博士ではなく)として博士(スポーツウエルネス学)の取得
- 研究博士のコースと異なり、学術論文誌の筆頭論文があることを条件としない
- PBL:Project-Based Learningとして課題解決型プロジェクトワークを重視
- グローバルでのマネジメント力向上のために1回以上の国際学会等での発表を修了要件に位置付ける
- 指導教員＋副指導教員(学外1名と学内1名)3名による複数指導体制

1

【資料2-1】

副指導教員の役割

- スポーツウエルネス研究演習Ⅰ(D1)、Ⅱ(D2)、Ⅲ(D3)での指導
⇒年3回
- 研究報告会での指導⇒年1回(D1～D2)
- D3(最終年)での予備審査会、本審査会⇒通常はそれぞれ1回
- 課題解決型プロジェクトワークの審査(テーマ審査、プロジェクト後審査)
⇒D3夏までにそれぞれ1回

2